

ふれあいのつばさ



～新年度を迎えて～

新しい元号となって いよいよ時代も変化を迎えます。
さらにIT、バイオ技術の進歩により、日常生活もめまぐるしく変わる時代に突入していきます。

より複雑化する中、人と人の繋がりが失われていかないように、社会の仕組みを再構築していかなければならない時代とも言えます。

われわれ法人は、そういった時代にも常に繋がりを大切にしていき、医療・福祉・保健の事業を切れ目無く推し進めていきたいと考えています。



医療法人社団相和会 理事長 土屋 敦

～澁野辺総合病院からのお知らせ～

阪神・淡路大震災、地下鉄サリン事件、東日本大震災、熊本地震など、様々な災害や事件と共に激動の30年であった「平成」から、新しい年号「令和」に替りましたが、「令和」は出来れば平穏で安寧な時代となることを望むのは私だけでしょうか？

澁野辺総合病院は、今年度から脳外科の和久井先生を迎え、脳外科領域の疾患を伴う患者さんを受け入れることが出来るようになりました。また、今年は麻酔科、内科、外科の先生方が新しく仲間に加わり、より充実した医療を提供できるようにもなりました。今年度も、澁野辺総合病院に集う職員全員が、地域の皆様に信頼と安心を提供できるよう、より一層の努力をしていく所存です。



澁野辺総合病院 病院長 世良田 和幸

副病院長就任のごあいさつ

副病院長・外科部長

大野 烈士



私が浜野辺総合病院で仕事を始めて10年が経ちました。都市部における161床規模の当病院の役割は以下のようなものと考えています。

- ・二次救急を行う
- ・地域に密着した多様な診療を担う
- ・部門によってはかなり専門性の高い治療を行う

この役割を病院内で無駄なく効果的に行えるように協力していくことが大切です。私が関わっている外科診療においては、広範囲の諸臓器の疾患(心臓血管を除く)を扱っています。

- ・外科医5名が臓器を超えて協力していく
- ・外科手術だけでなく抗がん剤や分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤などの薬物治療も行う

この了解のもと、専門性の振り分けでは、

- ①肺癌を中心とした呼吸器疾患(胸腔鏡手術も可能)
- ②胃がん、大腸がんをはじめとする腹部消化器疾患(腹腔鏡手術も可能)
- ③稀少がんとされる胸腹部の肉腫とその類似疾患
- ④胆石症などの良性疾患やその他の感染性疾患

を扱っています。これからもよろしくお願いいたします。

副病院長・メディカルサポートセンター長・内科部長

小池 幸宏



このたび浜野辺総合病院副病院長に就任いたしました小池幸宏と申します。

大学病院で約10年、前任の病院で約17年、消化器内科医として、主に肝臓領域の癌、肝炎などの診断治療に携わってまいりました。当院には昨年4月より勤務しております。

患者様の高齢化に伴い、病院の役割も単に医療を提供するだけでは不十分となってきて

おります。病気の診断治療はもちろんのこと、退院後の生活の体制作りまで、総合的な役割が医療機関にも求められています。地域の医療ニーズに少しでも応えられますよう、微力ながら尽力していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

渚野辺総合病院

新任医師のごあいさつ

麻酔科部長

山本 英明



本年1月より入職して麻酔科部長を拝命しました、麻酔指導医・専門医の山本英明と申します。

長年、大学病院や国立病院などでの勤務を通して、数多くの症例を経験しました。

循環器系疾患の麻酔を専門にしており、そうした合併症を持つ方の麻酔を得意としております。

これからは、地元根差した地域医療への貢献の為に、微力ながら一翼を担いたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。

外科

波多江 亮



1月より縁あって入職させていただきました外科の波多江亮と申します。鹿児島県出身です。

特に専門臓器はありませんが、鏡視下/開胸開腹問わず心臓を除く胸腹部体幹の手術を広く手掛けてきました。

ガイドラインだらけのEBM時代にあっても過度にエビデンスに振り回されることなく、患者様にとってのBest practiceを柔軟に提示できるよう、これからも研鑽を積みたいと思います。よろしくお願い致します。

消化器内科

瀬戸 元子



この度3月から入職しました瀬戸元子と申します。

消化器内科で、特に消化管を専門にしており、上下部消化管内視鏡検査も担当しております。

消化管疾患をはじめ、腹痛などでお困りの時はご相談いただければと思います。よろしくお願い致します。

脳神経外科

和久井 大輔



4月1日より入職した脳神経外科の和久井大輔と申します。

私が専門とする脳卒中は日本人の死因第3位、そして、介護を要する原因第1位の疾患です。このため患者様本人のみではなくご家族にも詳しい説明が必要な病態です。脳卒中と思われる時はもちろん、その後の管理やケアなどもご依頼ください。迅速な診療を心がけますのでよろしくお願い申し上げます。

相模原総合健診センター 新任医師のごあいさつ



診療部
島津 将

健診センターの島津将と申します。昨今、健康寿命の延伸、予防医学領域が注目されることが多くなりました。

癌などを早期発見し早期治療できるように、そしてどうすれば発症・出現の予防ができるのか、研鑽を積みつつ、これまで消化器を中心に診療して参りました経験、知識を活かし地域の皆様に貢献できるよう全力を尽くす所存でございます。近隣医療機関の先生方にはご迷惑をお掛けすることもあるかと存じますが、精一杯頑張りますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

◆ 編集後記 ◆



いよいよ、2019年5月1日より新しい時代の幕明けですね！

大化の時代より始まり、近年では、明治、大正、昭和、平成と時代を重ね、

248番目の新元号「令和」時代を迎えます。

令和の新元号の由来は、万葉集巻五、梅花（うめのはな）の歌三十二首の序文

『初春の令月（れいげつ）にして、氣淑（きよ）く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後（はいご）の香を薫す。』から用いられたと言われております。

この言葉には～人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように～との意味が込められており、希望を感じる新しい元号の始まりを心からお祝いしたいと思います。

（広報委員 山口）



JR澗野辺駅(北口)下車徒歩5分(駐車場あり)

- * 小田急線ご利用の方は町田駅で横浜線にお乗り換え
 - * 京王線ご利用の方は橋本駅で横浜線にお乗り換え
- ※快速は止まりませんので、各駅停車にお乗りください

☎ 連絡先 ☎

澗野辺総合病院 (代表) (042)754-2222
相模原総合健診センター (代表) (042)753-3301

〒252-0206 相模原市中央区澗野辺 3-2-8